

眞善美

学校教育目標「無限の可能性をひらく教育」

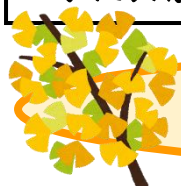
発行日 令和8年9月

小田原市立鴨宮中学校

責任者 長田 裕一郎

〒250-0874 小田原市鴨宮 547

http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kamonomiya_c/



夏休みが終わり、学校再開です

例年より長めの45日間の夏休みを終え、9月1日（火）から学校が再開しました。多くの生徒が、たくさんの思い出をつくり、心と体をリフレッシュすることができたことと思います。全校集会で生徒に伝えた話です。

- 夏休み明けも、強い意志をもって、誘惑に負けず、「自律した生活」を送ってほしいと思います。また、自分の無限の可能性をひらき、そして広げる挑戦を続けてください。
- 今年の夏は、「令和8年熊本地震」「令和8年8月千葉豪雨」など大きな災害が起きました。災害により、亡くなられた方にお悔やみを申しあげるとともに、被災された方にお見舞いを申しあげます。9月1日は「防災の日」で、関東大震災が起こったことを由来としています。学校でも家でも、自分の「いのち」をどうしたら守れるかについて、真剣に考えてみてください。
- 熱中症やインフルエンザなどへの対策を行い、体調が悪いときには、くれぐれも無理をしないようにしてください。
- 様々な不安や悩みを抱えている人もいます。一人で抱え込まないで、9月2日（水）から行う教育相談などで、先生や友だち、家族に相談してください。また、周りに元気のない友だちがいたら、是非、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。そして、自分の、そして仲間の「体のいのち」と「心のいのち」を大切に守ってください。
- 徐々に生活のリズムを整え、学習や行事などに向けて、しっかりとリスタートしてください。「ともに」取り組んでいきましょう。

保護者、地域の皆様におかれましては、夏季休業明けも、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

夏休み中の部活動の様子

夏季休業中、各部活動が鴨宮中学校の代表として、「誇り」や「プライド」をもって活動しました。また、「結果」だけでなく「プロセス」を大切に、自分たちの今があることに對して「感謝」の気持ちを忘れずに取り組みました。保護者、地域の皆様には、生徒たちの活動を支え、温かい応援をいただき、ありがとうございました。

一部ですが、活躍の様子を、鴨宮中学校のホームページ（「学校日記」）でご覧いただくことができます。右の二次元コードからアクセスください。

また、正門の正面に掲げている横断幕が風雨にさらされて破れていたところ、家庭部が修繕してくれました。創意工夫と、それを実現する技術が織りなす、見事な仕事です。ありがとうございました。



水やりボランティア

夏休み中、朝早くから校地内にある草花に水をあげている生徒たちの姿がありました。委員会や係の仕事としてではない、自主的な取組です。「夏休みの生活リズムをつくることにもつながるんです」素敵な笑顔で答えてくれました。草花の「いのち」を大切にする気持ちがとても嬉しかったです。

保護者、地域の皆様も、学校にお立ち寄りいただいたり、あいさつロードを散歩されたりする際に、お時間がありましたら、学校にあるじょうろで、草花に水をあげていただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。



地域の方に感謝

鴨宮中学校の近くにお住まいで、卒業生でもある岩瀬様のご厚意で、「真善美」の石碑を囲む植木の手入れをしてくださいました。7月23日（木）は、気温が36℃を超える猛暑日でした。「母校のためですから」と、日に焼けたお顔でおっしゃってくださったこと、感動しました。

鴨宮中学校は、地域の皆さまに支えられています。本当にありがとうございます。



夏休み寺子屋



8月2日（日）、飯泉公民館主催の「夏休み寺子屋」に中学生がボランティアで参加しました。前半は、小学生の夏休みの宿題へのサポートや英語ビンゴ等の学習、後半は、ボードゲーム、トランプ、キーホルダーづくりなど、小・中学生で楽しく交流しました。最後は、みんなでフルーツポンチを食べました。

これからも、地域と「ともに」ある学校をめざして取り組んでまいります。

特別教室 空調工事



7月18日（土）から、理科室、美術室、技術室、被服室、調理室、図書室、視聴覚室の特別教室への空調設置工事が行われています。工事期間は9月にもかかり、生徒の皆さんには、もうしばらくの間、不便をかけることとなりますが、鴨宮中学校の学びをより一層充実するために、ご理解とご協力をお願いします。

体育館に続き、皆様の税金で設置・運用される設備ですので、大切に使用していきます。



学び続ける教師

夏季休業中も、先生方は、教師としての力量を高めるため、多くの「研修」をとおして学びを深めました。「各教科等における『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善について」「生成AIの活用について」「探究的な要素をもつ学習活動の充実について」「生徒のSOSの理解と対応について」「より深い生徒理解について」「不祥事防止について」「不審者への対応について」など内容も様々です。

これからも、生徒一人ひとりの可能性をひらくために、教師が研鑽を積み重ね、生徒の成長にとってよりよい教育に向け、不断の努力をしております。

